様式第2号（第9条関係）

設計内容説明書

●一戸建て住宅の木造軸組み住宅用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者	資格 () 級 建築士 () 登録第 () 号
	建築士事務所名称 () 級 建築士事務所 () 知事登録第 () 号
	氏名
建築基準関係規定への適合の確認	☐ 確認済 (建築確認が必要な建築工事の場合は、記入不要)
審査員氏名※	

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
1 構造躯体等の劣化の対策	外壁の軸組等	外壁の構造等 (地面から1 m)	・外壁の構造 (☐ 通気構造等 ☐ その他) ・柱 [☐ 製材 (樹種) ☐ 集成材等 (種類)] 小径 (cm) 薬剤処理 [☐ 有 (方法) ☐ 無] ・柱以外の軸材 [☐ 製材 (樹種) ☐ 集成材等 (種類)] 薬剤処理 [☐ 有 (方法) ☐ 無] ・構造用合板等の種類 () 薬剤処理 [☐ 有 (方法) ☐ 無]	☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	土台	防腐・防蟻処理	・土台に接する外壁下端の水切り (☐ 有 ☐ 無) ・土台の樹種 () ・薬剤処理 [☐ 有 (方法) ☐ 無]	☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	地盤	防蟻措置	・防蟻方法 (☐ べた基礎等 ☐ 土壌処理 ☐ その他) ・土壌処理 [☐ 有 (方法) ☐ 無]	☐ 仕上表 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	浴室・脱衣室の防水	防水上の措置	・浴室 (☐ 浴室ユニット ☐ 防水上有効な仕上 ☐ その他の防水措置 ☐ 防腐措置) (方法) ・脱衣室 (☐ 防水上有効な仕上 ☐ その他の防水措置 ☐ 防腐措置) (方法)	☐ 仕上表 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	基礎高さ	基礎高さ	・地盤面から基礎上端までの高さ (mm)	☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	床下防湿・換気措置	防湿方式	・防湿方法 [☐ コンクリート (厚さ mm) ☐ 防湿フィルム (厚さ mm)] ・防湿フィルムの場合の材料 ()	☐ 計算表 ☐ 仕上表 ☐ 基礎伏図 ☐ 矩計図	☐ 適 ☐ 不適
		換気措置	☐ 基礎部の開口 (外周部の設置間隔 m) (開口高さ mm、幅 mm) ☐ ねこ土台 (有効面積 c㎡/m、高さ cm)	☐	
	小屋裏換気	小屋裏換気	・換気口の位置 (給気口 : 排気口 :) ・換気口の面積の天井面積に対する割合 ()	☐ 仕上表 ☐ 立面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	点検空間の確保	床下措置	・床下空間への措置 点検口 [☐ 有 ☐ 無]	☐ 平面図	☐ 適
		床下空間 小屋裏措置	・床下有効高さ (mm) ・小屋裏空間への措置 点検口 [☐ 有 ☐ 無]	☐ 伏図 ☐	☐ 不適

(注) 作成者の方は※欄は、記入しないでください。

様式第2号（第9条関係）

確認事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※			
		項目	設計内容	記載図書				
2 耐震性 (耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)等級2とする場合の例。)	土台・柱	柱の小径	・小径 () mm	☐ 仕上表	☐ 適 ☐ 不適			
		アンカボルト	・品質 () ・埋込み長さ () mm ・位置・間隔 ()	☐ 伏図 ☐				
		耐力壁	筋かい耐力壁	・種類 () ()		☐ 仕上表 ☐ 伏図		
			木摺耐力壁	・種類 ()	☐ 壁量計算書	☐ 適 ☐ 不適		
			面材耐力壁	・種類 () 厚さ () () 厚さ ()				
				・くぎ打ち(種類)、間隔 mm)				
			基準法で定める存在壁量	・X軸方向(1階 cm、2階 cm) ・Y軸方向(1階 cm、2階 cm)				
			基準法で定める必要壁量	・X軸方向(1階 cm、2階 cm) ・Y軸方向(1階 cm、2階 cm)				
			準耐力壁等	各部寸法			☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐ 壁量計算書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
				・階高 1階 () 2階 () ・天井高 1階 () 2階 () ・横架材間距離 1階 () 2階 () ・開口高さ 掃出窓 () mm 腰高窓/大 () mm 腰高窓/中 () mm 小窓 () mm その他 () mm				
				木摺準耐力壁・腰壁等	・種類 () ()			
				面材準耐力壁・腰壁等	・種類 () 厚さ () () 厚さ ()			
				・くぎ打ち(種類)、間隔 mm)				
				性能表示で定める存在壁量	・X軸方向(1階 cm、2階 cm) ・Y軸方向(1階 cm、2階 cm)			
				・X軸方向(1階 cm、2階 cm) ・Y軸方向(1階 cm、2階 cm)				
				床組等	☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐	☐ 適 ☐ 不適		
			火打ち構面	・火打ちの種類、寸法 () ・火打ちの隅長 () ・火打ちと取合う梁背 () mm ・火打ち構面の位置 ()				
			2階床面	・面材の種類 () ・根太(間隔)、工法) ・くぎ打ち(種類)、間隔 mm)				
		小屋床面	・面材の種類 () ・根太(間隔)、工法) ・くぎ打ち(種類)、間隔 mm)					
	屋根面	屋根勾配	・勾配 () 寸)	☐ 仕上表	☐ 適 ☐ 不適			
		屋根面	・面材の種類 () ・垂木(間隔)、工法) ・くぎ打ち(種類)、間隔 mm)	☐ 伏図 ☐				

様式第2号（第9条関係）

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
2 耐震性のつづき	接合部	金物の品質	・品質（ ）	☐ 仕上表	☐ 適 ☐ 不適
		筋かい端部の接合部	・金物（ ）	☐	
		柱脚・柱頭の接合部	・金物（ ） ・仕口等（ ） （ ） （ ） （ ）		
		下屋等の横架材接合部	・金物（ ） ・仕口等（ ）		
	基礎（寸法・配筋等）	根入れ深さ	・深さ（ mm）	☐ 仕上表	☐ 適 ☐ 不適
基礎の各部寸法	・立上り部分の高さ（ mm） ・ " 厚さ（ mm） ・底盤の寸法（厚さ mm、幅 mm）	☐			
基礎の配筋	・主筋（径 mm） ・標準部の補強筋（径 mm） ・開口直下の補強筋（径 mm）				
横架材	横架材の断面寸法（最小～最大）	・床大梁（ mm× mm、間隔 mm） ・床小梁（ mm× mm、間隔 mm） ・小屋梁（ mm× mm、間隔 mm） ・胴差し（ mm× mm、間隔 mm） ・根太（ mm× mm、間隔 mm） ・垂木（ mm× mm、間隔 mm）	☐ 仕上表 ☐ 伏図 ☐	☐ 適 ☐ 不適	
限界耐力計算	安全限界変形	☐ 地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合が1/40以下であることを確認 ☐ 各階の変形をそれぞれ当該階の安全限界変形の75%以下であることを確認 ☐ 特に考慮なし	☐ 計算書 ☐		☐ 適 ☐ 不適

様式第2号（第9条関係）

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
3 可変性			(一戸建て住宅のため該当なし)		
4 維持管理・更新の容易性	専用配管内埋込み配管	コンクリート	・排水管 (□無 □有) ・給水管 (□無 □有) ・給湯管 (□無 □有)	□仕上表 □平面図 □矩計図 □	□適 □不適
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管 (□無 □有) ・給水管 (□無 □有) ・給湯管 (□無 □有) □条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	□仕上表 □平面図 □	□適 □不適
	専用排水管	排水管の清掃措置	・便所 [□排水ますに隣接 □掃除口 (□露出又は開口有)] ・その他の水まわり [□トラップ □掃除口 (□露出又は開口有)]	□配置図 □平面図 □	□適 □不適
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む。)	配水管等の内面 設置状態	□平滑である (仕様等) □その他 () □たわみ抜け等が生じないように設置措置 () □その他 ()	□仕上表 □	□適 □不適
	配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 [(□露出 □開口有 □その他 ())] ・給水管と設備機器の接合部 [(□露出 □開口有 □その他 ())] ・給水管のバルブ及びヘッダー [(□露出 □開口有 □その他 ())] ・給湯管のバルブ及びヘッダー [(□露出 □開口有 □その他 ())]	□平面図 □	□適 □不適
	5 高齢者等配慮対策等級 (共用部分)			(一戸建て住宅のため該当なし)	
6 省エネルギー対策	躯体の断熱性能等	断熱構造とする部分と性能	・各部熱貫流率若しくは断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ ----- 屋根 () 天井 () 壁 () ----- 床 外気に接する部分 () その他の部分 () ----- 土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()	□仕様書 □仕上表 □矩計図 □	□適 □不適

様式第2号（第9条関係）

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
	開口部の 断熱性能 等	窓・ドア等の 断熱性	建具・ドア枠の材質・形状、 ガラスの種類・構成等 建具形態 () () () () () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		窓・ドア等の 日射侵入対策	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属 部材等 () () () () () () () ()		
	結露防止 対策	結露の発生防 止対策	・防湿層の設置（繊維系断熱材等の場合） () ・外壁又は屋根の通気層の確保 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
7 住宅の 規模	住宅の面 積	住宅の面積	・住宅の専用面積 () m ² ・40m ² 以上ある階 () 階 () m ² うち階段部分の面積 () m ²	☐ 求積図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
8 維持保 全の方法			・期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全 計画書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
9 資金計 画			☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書	☐ 適 ☐ 不適

様式第2号（第9条関係）

設計内容説明書

●共同住宅等非木造住宅用

その1、住棟審査用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者	資格 (級) 建築士 () 登録第 号
	建築士事務所名称 (級) 建築士事務所 () 知事登録第 号
	氏名
建築基準関係規定への適合の確認	☐ 確認済 (建築確認が必要な建築工事の場合は、記入不要)
審査員氏名※	

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※	
		項目	設計内容	記載図書		
1 劣化対策等級 (構造躯体等)	セメント	セメントの種類	☐ ポルトランドセメント (JIS R 5210) (☐ 中庸熱 ☐ 低熱 ☐ その他) ☐ フライアッシュセメント (JIS R 5213) ☐ 高炉セメント (JIS R 5211)	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適	
	コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・土に接しない部分 耐力壁以外の壁 床屋内 (mm) 屋外 (mm) 耐力壁、柱、はり 床屋内 (mm) 屋外 (mm) ・土に接する部分 壁、柱、はり 床、基礎の立ち上がり部分 (mm) ・基礎(立ち上がり部分を除く。) ・外壁仕上げ[☐ タイル貼 ☐ モルタル塗 ☐ 外断熱工法 ☐ その他 ()]	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適	
		水セメント比	・コンクリートの種類 (☐ 普通コンクリート ☐ 軽量コンクリート) ・水セメント比 (%)			
		部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	・施工誤差 (mm)	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		コンクリートの品質等	スランプ	(cm)	☐ 仕様書	☐ 適
			単位水量	(kg/m ³)	☐	☐ 不適
			空気量	(%)		
	施工計画	コンクリートの充填方法等	・打込・締め固め方法 () ・打継ぎ部の処理方法 () ・養生方法 ()	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適	
2 耐震性 (耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)等級2とする場合の例。)	構造躯体	コンクリート及び配筋	・コンクリートの種類 () ・コンクリートの強度 () ・主筋の種類・径 () ・部材の寸法、種類 ・部材相互の接合方法	☐ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ 構造伏図 ☐ 矩計図	☐ 適 ☐ 不適	
		免震建築物	☐ 免震建築物 ☐ 平成12年建設省告示第2009号第1第3号に規定されるもの ・同告示第2の該当する号 ☐ 1 (4号建築物) ☐ 2 (建築基準法第20条第2号に掲げる建築物) ☐ 3 (時刻歴応答解析を行い大臣認定取得) ・免震層・免震材料の維持管理に関する計画 [☐ 有 ☐ 無] ・敷地の管理に関する計画 [☐ 有 ☐ 無] ☐ その他 ()	☐ 計算書 ☐ 仕様書 ☐ 構造伏図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適	

(注) 作成者の方は※欄は、記入しないでください。

様式第2号（第9条関係）

確認事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
4 維持管理・更新の容易性 (1)維持管理対策等級(共用配管) (等級3とする場合の例。)	共用配管	コンクリート内埋込み配管	・排水管[☐ 無 ☐ 有] ・給水管[☐ 無 ☐ 有] ・給湯管[☐ 無 ☐ 有]	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管[☐ 無 ☐ 有] ・給水管[☐ 無 ☐ 有] ・給湯管[☐ 無 ☐ 有] ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	共用排水管	排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	・共用立管 管の種類 掃除口の位置 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) ・横主管 管の種類 掃除口の位置、間隔 点検措置 () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口) () () (☐ 露出 ☐ 開口)	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	排水管の性状等（継手及びヘッダーを含む。）	排水管等の内面	☐ 平滑である（仕様等） ☐ その他（ ）	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置措置（ ） ☐ その他（ ）		
	配管点検口	排水管と専用排水管の接合部	・接合部の位置（ ） 点検措置（ ☐ 露出 ☐ 開口）	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		給水管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置（ ） 点検措置（ ☐ 露出 ☐ 開口） ・バルブの位置（ ） 点検措置（ ☐ 露出 ☐ 開口）		
		給湯管と専用配管の接合部及びバルブ	・接合部の位置（ ） 点検措置（ ☐ 露出 ☐ 開口） ・バルブの位置（ ） 点検措置（ ☐ 露出 ☐ 開口）		
	横主管のピット内等の措置	排水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置（ ☐ 人通孔設置 ☐ その他） ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている	☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		給水管	☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置（ ☐ 人通孔設置 ☐ その他）		
給湯管		☐ 建物直下になし ☐ ピット内又は床下設置（ ☐ 人通孔設置 ☐ その他）			
配管補修の措置	排水管	☐ 露出（ ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー） ☐ P S内（ ☐ 共用部に面して補修用開口有）	☐ 平面図 ☐ 設備図	☐ 適 ☐ 不適	
	給水管	☐ 露出（ ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー） ☐ P S内（ ☐ 共用部に面して補修用開口有）	☐		
	給湯管	☐ 露出（ ☐ 共用部 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー） ☐ P S内（ ☐ 共用部に面して補修用開口有）			

様式第2号（第9条関係）

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
4 維持管理・更新の容易性 (2)更新対策(共用排水管) (等級3とする場合の例。)	共用排水管	コンクリート内の埋め込み配管	・共用排水管[☐ 無 ☐ 有]	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		地中埋設管上のコンクリート打設	・共用排水管[☐ 無 ☐ 有] ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		パイプスペース及びピット等	・横主管の設置位置 ☐ ピット ☐ 1階床下空間 ☐ ピロティ ☐ その他の共用部分 ()	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
			・配管に人が到達できる経路 ☐ 人通孔 ☐ その他 ()		
		・共用排水管の位置 ☐ 共用部分 ☐ 住棟外周部 ☐ バルコニー ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている ☐ その他 ()			
・共用排水管の設置方法 ☐ 露出 ☐ パイプスペース内					
□該当なし	新たな共用排水管の設置余地	コンクリート床等の貫通部	・共用排水管のコンクリート床等の貫通部[☐ 有 ☐ 無] ☐ 共用排水管の切断工事を軽減する措置かつ共用排水管がコンクリートの床等を貫通する部分に共用排水管の撤去の際のはつり工事を軽減する措置 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保	☐ 仕様書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
			□共用排水管の近傍に新たな共用排水管の設置スペース・スリーブ等 ☐ 排水管の接続替えを容易に行うための措置 ☐ 共用排水管の撤去、接続替えその他更新のための空間を確保 ・専用排水管・横主管の接続替えができる空間、スリーブ[☐ 無 ☐ 有] ☐ その他の措置 ()	☐ 平面図 ☐ 設備図 ☐	☐ 適 ☐ 不適

様式第2号（第9条関係）

その2. 住戸審査用

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者	資 格 _____ (_____ 級) 建築士 (_____) 登録第 _____ 号
	_____ (_____ 級) 建築士事務所 (_____) 知事登録第 _____ 号
	建築士事務所 名 称 _____ 所在地 _____ 氏 名 _____
建築基準関係規定への適合の確認	☐ 確認済 (建築確認が必要な建築工事の場合は、記入不要)
審査員氏名※	

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
3 可変性	躯体天井高さ	躯体天井高さ	・躯体天井高 (_____ mm以上)	☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
4 維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管	・排水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給湯管 (☐ 無 ☐ 有)	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給水管 (☐ 無 ☐ 有) ・給湯管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 条例等の規定により凍結防止のため配管埋設が定められている地域	☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐
	専用排水管	排水管の清掃措置	・便所 [☐ 共用縦管に隣接 ☐ 掃除口 (☐ 露出又は開口有)] ・その他の水まわり [☐ トラップ ☐ 掃除口 (☐ 露出又は開口有)]	☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	排水管の性状等 (継手及びヘッダーを含む。)	排水管等の内面	☐ 平滑である (仕様等) ☐ その他 (_____)	☐ 仕上表 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		設置状態	☐ たわみ抜け等が生じないように設置措置 (_____) ☐ その他 (_____)		
配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 (_____))]	☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適	
		・給水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 (_____))]			
		・給水管のバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 (_____))]			
		・給湯管のバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 (_____))]			

様式第2号（第9条関係）

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
5 高齢者 等配慮対 策等級(共 用部分)	共用廊下	共用廊下の幅員	有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩計図	☐ 適 ☐ 不適
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
	共用階段	勾配等	・けあげ (mm) ・踏面 (mm) ・勾配 (/)	☐ 平面図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		蹴込み	・蹴込み寸法 (mm) ・蹴込み板 (☐ 無 ☐ 有)		
		形式等	・階段の形式 (☐ 踊り場付き折れ階段 ☐ 直階段 ☐ その他) ・最上段の通路等への食い込み (☐ 無 ☐ 有) ・最下段の通路等への突出 (☐ 無 ☐ 有)		
		滑り防止	・滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面)		
		段鼻	・段鼻の出 (☐ 無 ☐ 有)		
		転落防止用手すり (外部開放階段)	・転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
		共用階段の幅員	・有効幅員 (mm)		
		手すり	☐ 有 ☐ 無		
エレベーター	エレベーターの利用	・住戸位置 (☐ 建物出入口に存する階 ☐ 左記以外) ・エレベーター設置 (☐ 無 ☐ 有)	☐ 仕様書 ☐ 平面図	☐ 適 ☐ 不適	
	エレベーターの仕様	・出入口の有効幅員 (mm) ・かごの奥行き寸法 (mm)	☐		
	エレベーターホールの広さ	・エレベーターホールの寸法 (mm × mm)			
6 省エネルギー対策 (等級4とする場合の例。)	躯体の断熱性能等	断熱構造とする部分と性能	・各部熱貫流率若しくは断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ ----- 屋根 () 天井 () ----- 壁 () ----- 床 外気に接する部分 () その他の部分 () ----- 土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
		開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性 建具・ドア枠の材質・形状、 ガラスの種類・構成等 () () () () () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	

様式第2号（第9条関係）

認定事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄※
		項目	設計内容	記載図書	
		窓・ドア等の 日射侵入対策	方位 ガラスの日射侵入率等 庇・軒・付属 部材等 () () () () () () () ()		
	結露防止 対策	結露の発生防 止対策	・結露の発生の防止対策 防湿層の設置（繊維系断熱材の場合） () ☐ 内断熱工法 ☐ 断熱材をコンクリート躯体に前面密着等	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	熱橋部対 策	熱橋部の 断熱補強対策	・貫通部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗、又は断熱材の種類と厚さ () 補強範囲 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
7 住宅の 規模	住宅の面 積	住宅の面積	・住宅の専用面積 () m ² 以上 ・40m ² 以上ある階 () 階 () m ² 以上 うち階段部分の面積 () m ²	☐ 求積図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
8 維持保 全の方法			・期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全 計画書 ☐	☐ 適 ☐ 不適
9 資金計 画			☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書	☐ 適 ☐ 不適